

熱田津に船乗りせんと月待てば
潮もかないぬいまはこごいでな

額田王

誰もが合図を待っています。今いるところから踏み出す時を待ち望んでいます。万葉の歌人、額田王が宣言したような、確信に満ちた勅言が身の内から湧いてくることを請い願っています。風の音や雨の音、木々の葉擦れや虫の鳴き声を雑な音と聞く西欧の人々とは異なり、イザナギイザナミの末裔、神の子である私たちは、自然の音に時の移ろいや創造主の意図を感じるチカラをもっていたはずなのに、あまりにも長く太陽や月、風や大地と親しく語り合わなかったがために、古代の人々が当たり前のように育んで来た神秘能力を失ってしまいました。

「重陽の節句」を経て2012年の幕開けを告げる「節分会」の宴へ

だけれども、自然の中にこだまするスピリットを感じ取り、その響きに身を委ねることで心身の不調和を癒すことを私たちは本能で知っています。寄せ来る波や木々を渡る風、小川のせせらぎ等々、自然界に流れているのは倍音の響きです。そういった自然界に存在する倍音の響きを、牧野持侑、奈良裕之、長屋和哉は、スピリットキャッチャー、銅鑼、シャーマンドラム、アルケミークリスタルボウル、インディアンフルート、シンキングボウル等の楽器を通して時には激しく時には優しく、よりわかりやすい形で増幅して再現するのですが、彼らが奏でる音魂に身を委ねているうちに私たちの身心は生体反応を起し、そうとは気がつかないうちに自らの潜在能力の底の底のほうまで旅することになります。生まれ変わったような気分を味わう人も多いことでしょう。

2月3日は立春(新年)の前日、節分(旧暦では大晦日)です。季節の変わり目は厄がたまりやすいことから「豆まき」で厄払いをして新年を迎えたのが「節分会」の起源とのことです。が、「世界がシフトする年」との予言がある2012年を迎えるにあたり、ご縁ある皆様と「豆まき」ならぬ「音開き」を一緒にすることができれば大変嬉しく思います。感謝と共に。

文・金子夏枝(株式会社ピンポイント)

奈良裕之 percussion

<http://www.narayuji.com/>

ヨガとアーユルヴェーダの呼吸法を取り入れたヒーリング・ワーク「サイレント・セッション」や、福祉施設・教育施設・病院で演奏すると共に日本各地の神社・寺・教会・遺跡などで奉納演奏を行う他、写真や書による個展も開いている。07年公開の映画「ガイアシンフォニー第6番」に出演。CDに「光の旋律」がある。



牧野持侑 Alchemy Crystal Bowl <http://crystalian.com/>

1970年代から90年代の20年間、北カリフォルニアの各地で暮らす。85年にクリスタルボウルと出会う。96年に帰国した後は、最新型のアルケミー・クリスタルボウルによる振動性音響ワークショップを提供するとともに、CDの制作や全国各地でのコンサート活動展開している。CD&DVDに「倍音浴」「睡眠浴」「時空浴」「雷雨のあとに」などがある。



長屋和哉 percussion <http://www.ame-ambient.com/>

「ガイアシンフォニー第4番、第5番、第7番」「世界遺産(熊野・吉野編)」など、楽曲の多くを映画やテレビに提供している。07年公開の映画「ガイアシンフォニー 第6番」には自身も出演。話題を呼んだ。同年にエッセイ集「すべての美しい闇のために」(春秋社刊)を発表。CDに「うつほ」「千の熊野」「魂は空に 魄は地に」「イリュミナシオン/冥王星」「サイレントガーデン」などがある。